

浸食との闘い

自然保護を助ける

南アルプスは素晴らしい自然の美しさを持つ地域ですが、夏は大雨が降りやすく、また台風の影響を受けやすい地域でもあります。山斜面は急勾配で、深い谷間を流れる急流は激しい雨の後には荒れ狂う奔流となり、深刻な浸食や地滑りを引き起こすことさえあります。しかし、巧みな技術が地形の変化を食い止め、訪れる人の安全を守るのに一役買っています。

自然地域では場違いに見えることがあるかもしれませんが、小さな砂防ダムと擁壁は、浸食による損壊を止める大事な手段です。コンクリートは、施工当初は目立つものの、時間の経過とともに植生が再び生育し始め、浸食によって損傷を受けた場所は回復し、コンクリートの建造物は景観になじんでいきます。砂防ダムや擁壁のような人工建造物は、在来動植物と山脈そのもの、そして川沿いに暮らす人々を守るのに役立ちます。